



1. 高校・大学生に向けた出前授業

平成24年度から社会貢献の一環として、これから社会にはばたく若い世代に「働くこと」の大切さを知っていただくため、都道府県社労士会が地域の学校で出前授業を実施しています。全国社会保険労務士会連合会はこの取り組みを支援するため、**学校教育用テキスト「知っておきたい働くときの基礎知識～社会に出る君たちへ～」**を作成し、提供しています。

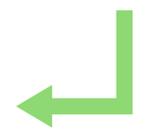
令和8年度は本テキストに時勢を反映し、「会社を休みたとき」の漫画テーマを「年次有給休暇」から「産後パパ休暇」に更新して提供します。



▲ 第12版



▲ 第11版



■ 過去5年間の出前授業の受講者数の推移（人）

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	5年間累計
34,938	39,855	52,375	59,631	61,269	248,068

■ 令和6年度学校別の実施状況（校・人）

目項	実施校数	講受者数	目項	実施校数	受講者数
小学校	50	4,114	専門学校	76	4,342
中学校	146	20,198	特別支援学校	28	604
高等学校	264	25,557	その他	21	1,387
短期大学・大学	47	5,067	合計	632	61,269

2. 小中学生の児童・生徒に向けた啓蒙（令和8年度計画）

キャリア教育の早期化（低年齢化）が進んでいることから、社会の仕組みとともに「社労士の使命・役割」を学んでもらうため、朝日学生新聞社が小中学生の児童・生徒に向けたキャリア教育用副教材として発行している『おしごと年鑑2026』（社会の土台を支える仕事紹介コーナー）へ当連合会及び社労士の紹介記事を掲載します。

日本全国の小・中学校（約3万校）をはじめ教育委員会、学童、子ども食堂、小児病棟、聾学校等に無償で7万5千部が寄贈される予定です。

働きやすい職場を作る 社会保険労務士って？

働きやすい職場を作るには？ 社労士の役割について

「人を大切にせる社会」の実現を目指す仕事です

全国社会保険労務士会連合会 会長 柳田正典氏